

5月3日（日） 2026年度春季リーグ戦第5節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
和歌大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	5
阪公大	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3

和歌山大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	橋本	3	水口東	4	3	0	
2	右	井上	1	明豊	5	1	0	
3	一	船越	3	履正社	4	2	3	
4	三	佐藤	4	札幌国際情報	5	1	0	
	三	岡本	4	和泉	0	0	0	
5	捕	堀	2	鹿児島玉龍	4	1	0	
6	指	花木	4	江南	1	0	0	
	打	藤田	4	長田	0	0	0	
	走指	寒川	1	熊野	1	0	0	
7	遊	澤田	2	広陵	2	1	0	
8	二	藤木	3	九州国際大学付属	2	0	0	
9	左	入江	4	延岡	1	0	0	
	打	錦野	4	八戸学院光星	1	0	0	
	左	鶴田	3	初芝立命館	1	0	0	
	打	谷口	2	徳島城東	0	0	0	
	左	辰己	2	京都先端科学大学附属	0	0	0	
投		福本	2	和歌山商業	-	-	-	
		一井	4	神戸鈴蘭台	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	1	4	5	4	1	31	9	3

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	4	府立生野	5	1	1	
2	遊	林	3	大阪明星	5	2	0	
3	左	上岡	3	泉陽	2	0	0	
	打	寺本	4	鳥取西	1	0	0	
	三	田中創	4	金沢桜丘	0	0	0	
4	一	菱田	3	関西大倉	4	3	1	
5	指	前田	4	須磨学園	3	1	1	
6	二	田中大	3	彦根東	4	1	0	
7	三	越智	2	乙訓	2	0	0	
	打	中澤	2	丸亀	1	0	0	
	左	荻沢	3	富山県立高岡	2	0	0	
8	捕	小田	3	一条	4	1	0	
9	右	野田	3	須磨学園	2	0	0	
	投	利川	3	西大和学園	-	-	-	
		片山	4	府立池田	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	6	4	4	0	1	35	9	3

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
福本	6	81	25	23	7	3	0	2	2
一井	4	60	18	12	2	3	4	1	0
合計	10	141	43	35	9	6	4	3	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
利川	6	83	24	20	7	0	1	2	1
片山	4	55	16	11	2	1	3	3	0
合計	10	138	40	31	9	1	4	5	1

【選評】

負ければ最下位が決まる絶対に落とせない一戦。必ず3戦目に繋げようと、総力戦で臨みました。

本日先発の利川（経3・西大和学園）は、初回テンポ良く三者凡退に打ち取ります。さらに味方の堅い守備にも助けられ、打者一巡するまで走者を許さず、順調な立ち上がりを見せます。

先制点を挙げたい攻撃は3回裏、先頭の小田（医3・一条）がライトオーバーの二塁打を放つと、続く野田（現3・須磨学園）の犠打で三塁へ進みます。ここで根来（経4・府立生野）が適時打を放ち、1点を先制します。

4回表、利川は連打を許し、犠打で一死二三塁のピンチを招きますが、ここはライナーゲッターで無失点に抑えます。

しかし5回表、安打と犠打で得点圏に走者を許すと、安打に味方の失策が絡み1点を失い、同点に追いつかれます。さらに6回には安打と盗塁でピンチを招き、適時打で勝ち越しを許します。

すぐさま取り返したい6回裏、林（工3・大阪明星）の内野安打と菱田（農3・関西大倉）の安打で一死一二塁のチャンス。この場面で打席に入った主将前田（現4・須磨学園）が二遊間を破る安打を放ち、1点を返して、同点に追いつきます。

7回表、利川は先頭に死球を与えたところで片山（生4・府立池田）がマウンドへ。犠打と四死球で満塁とされますが、気迫の投球で後続を打ち取り、無失点に抑えます。

8回裏、林が安打で出塁し、途中出場の田中創（法4・金沢桜丘）が犠打を決めて得点圏へ進めます。さらに菱田の内野安打、前田の四球で満塁としますが、あと一本が出ず、勝ち越しとはなりません。

8回を三者凡退に抑えた片山は9回表、一死から四球を許すも、続く打者を併殺打に打ち取り、得点を与えません。

9回裏、一死から野田が四球で出塁しますが、得点には結びつかず、試合は昨日に続いてタイブレークに突入します。

10回表、この日も片山がマウンドへ。無死一二塁の場面で、先頭打者の犠打に味方の失策が絡み、1点を失います。その後、併殺打で二死までこぎつけますが、センターオーバーの適時打で2人の走者が生還し、この回計3点を奪われます。

何としても追いつきたいその裏、死球で満塁とすると、4番菱田の犠飛で1点を返します。しかし反撃はここまで留まり、試合終了。3-5で敗戦し、I部II部入れ替え戦への出場が決定いたしました。